

令和8年8月12日

会 議 録

審 議 会 等 の 名 称	函南町総合計画審議会
庶務を担当する所属	総務部 企画財政課
会議の開催の日時	令和8年7月17日（金）13時30分から
会議の開催場所	函南町役場 4階特別会議室
出席者（職・氏名）	函南町総合計画審議会委員 19名 会 長 幸野宗昭 副会長 田中三智子 委 員 土江誠、佐藤泰博、渡邊仁美、仁科和晴、 鈴木新司、杉山雅也、露木洋二、柿島徹、 山岡龍也、菅野洋子、菅沼敬夫、三枝弘明、 中村和昭、小田切芳和、林千枝、鈴木和信、 安田秀 函南町長 仁科喜世志 総務部長 平井輝久 企画財政課 課長 木代和美 課長補佐 芹田知隆
欠席者（職・氏名）	委員 近藤誠司
議 題	(1) 審議事項 ・第七次函南町総合計画基本構想検討案について ・第七次函南町総合計画基本理念（案）について (2) 報告事項 ・第1回審議会意見の反映状況について ・庁内意見の反映状況について ・基礎調査報告書について
審 議 内 容	【事務局】 第1回審議会での委員意見及び庁内各課意見への対応状況について説明を行った。基礎調査報告書について説明を行った。 【委員】 第七次函南町総合計画基本構想案及び施策の大綱に

について4点の質問及び意見があった。

- (1) 基本理念の文章について、「求められています」「必要であります」「重要です」といった表現が多く用いられているが、課題整理を示す文章のように感じられる。基本理念であれば、「こうあるべき」といった目指す姿や方向性を示す表現の方が伝わりやすいのではないか。
- (2) 基本目標3「自分らしく健康で幸せに暮らせるまち」において、「疾病予防から重度ケアまで多角的に支援できる体制を整備する」としているが、その内容が今後どのような施策として位置付けられていくのか関心がある。
- (3) 現在審議している基本目標の下に位置付く具体的な施策について、今後どのような構成や体系で整理される予定なのか関心がある。
- (4) 教育分野も含め、成果指標が今後どのような考え方で設定されるのか関心がある。第七次総合計画ではどのような流れで成果指標の設定、進捗管理を行う予定なのか教えてほしい。

【事務局】

(1)基本理念の文章表現については、より適切な表現となるよう検討する。(3)(4)現在、庁内各課において基本目標ごとの具体的施策及び指標について検討している。次回審議会では前期基本計画として、各基本目標に対する施策及び成果指標の考え方について示したい。

【委員】

第七次函南町総合計画基本構想案及び施策の大綱について4点の質問及び意見があった。

- (1) 基本目標1で用いている「地球温暖化」という表現について、気候変動全般への対応を含むことを考えると、「気候変動対策」とした方が適切ではないか。
- (2) 地球温暖化は気温上昇という現象を指す言葉であり、対策を考える場合には再生可能エネルギー導入

等の緩和策だけでなく、適応策も含めた考え方が必要である。

(3) 基本目標 1 において、「廃棄物対策」「森林保全」などの表現がある一方で、「生活排水」などは対策なのか分野名なのか整理されていないように見受けられるため、記載方法を整理してはどうか。

(4) 基本目標 4 では幼児教育や小中学校教育について記載されているが、大学との連携に関する視点が見受けられない。大学生は地域づくりの担い手となり得る存在であり、大学と地域が連携した取り組みについても今後検討してほしい。大学側としても地域との連携に取り組んでいきたい。

【事務局】

(1)(2)「地球温暖化」と「気候変動対策」のどちらが適切かについて、庁内で検討する。(3)生活排水等を含めた表現の整理についても検討する。(4)大学との連携についても、庁内で検討したい。

【会長】

基本構想及び施策の大綱については、本日の意見に加え、意見シート等で提出された意見も踏まえ、事務局において再度整理・修正を行うこととする。また、パブリックコメント実施に向けた準備を進めることについて確認した。

【事務局】

基本理念（キャッチフレーズ）として 5 案を提示した。また、第 1 回審議会では「つながる暮らし ひろがる未来 かなみ」を支持する意見が比較的多く寄せられていたことを説明した。

【会長】

基本理念について、委員による挙手で意向確認を行った。

	【委員】 挙手による意向確認の結果、「つながる暮らし ひろがる未来 かなみ」が最も多くの支持を得た。 【事務局】 本日の審議会では、「つながる暮らし ひろがる未来 かなみ」を基本理念（キャッチフレーズ）の仮決定案として取り扱い、今後の検討を進めることとする。
備	考 傍聴者 1 人